

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金



2021年3月25日
商工中金

外国人技能実習生受入事業を開始し、担い手不足に悩む林業の課題を解決する 協同組合丸和林材様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（高知支店）は、協同組合丸和林材様（本社：高知県高知市、理事長：北岡 幸一様）に対し、外国人技能実習生の受け入れに必要な資金枠2,000万円を開設しました。

同組合は、全国トップクラスの木材チップ生産量を持つ丸和林業株式会社様（本社：高知県高知市）のグループ企業で構成されています。同グループは、全国に13社38拠点、23の木材チップ工場を有し、製紙用チップに加え、近年増加している木質バイオマス発電所向けのチップを供給しています。

今回、同組合は、木材加工や林業分野の経営課題である「担い手不足」や「従業員の高齢化」等に対応するため、ベトナム国営企業 VINAFOR 社の子会社と独占協力契約を締結し、外国人技能実習生の受け入れを新たな組合事業として計画しました。具体的には、丸和林業グループが手掛ける山林管理や木材チップ加工工場への外国人実習生を受け入れ、各種事業の活性化とともに品種改良を重ねた優良品種を管理できる専門人材を育成し、海外への技術移転を目指します。

商工中金は、高知県や高知県中小企業団体中央会と連携するとともに、同組合及び組合員への調査ヒアリングを通じた事業性評価を実施。同組合が取組む外国人実習生の受け入れ事業が、森林が84%を占める高知県の林業分野における課題解決に繋がり、県が策定する産業振興計画に沿ったものであることを確認。重要な地場産業の発展・育成に寄与することから、外国人実習生の受け入れに必要な資金枠を開設しました。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs(持続可能な開発目標)」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【協同組合丸和林材様の概要】

所在地	高知県高知市知寄町3-303
代表者	北岡 幸一様
資本金	9,560万円
従業員数	3名(2021年3月時点)
設立	1988年9月
業種	共同購買、外国人技能実習の監理



【集材機の講習】